

# 令和6年度 3年A組 学級経営方針

担任 三宅 輝

1 生徒数 男子18名 女子17名 計35名

2 学級目標 ONE FOR 『ALL』 FOR ONE ~後悔残さず思い出に残るA(ええ)クラス

## 3 生徒の様子

個性豊かな生徒が多く、特別な配慮が必要な生徒も少なくない。しかし、一人一人がクラスのために貢献しようとする意識が見られる。

## 4 学級経営の重点事項

- (1) 誰もが居心地が良いと思えるあたたかいアットホームな雰囲気の学級を構築する。
- (2) 「ありがとう」の言葉を大切にして感謝の気持ちをもたせる。
- (3) 互いに支えあい、助け合える集団の育成を図る。
- (4) やるべきことや提出物など、期限や約束などを守れるよう指導する。
- (5) 自主自律の精神を高め、失敗を恐れず、自ら行動できるようにする。

## 5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 挨拶や休み時間、朝学活前の会話や道徳などを大切にして担任と話しやすい雰囲気をつくる。
- (2) 係や委員会、当番活動など日頃からクラスのために動いてくれる生徒にねぎらいの言葉をかけていきながら感謝の気持ちをもたせる。
- (3) 担任も含め、完璧な人間などいないということを念頭に置きながら、至らない点はみんなで補っていくように声掛けをしていく。
- (4) 掲示物は誰が見ても分かりやすく掲示し、提出物やその日の主な予定などを視覚的に理解できるようにする。
- (5) 担任が主導になるのではなく、「任せる」、「やらせる」、「認める」の精神で生徒主導で挑戦するよう促し、その行動を認めていく。

# 令和6年度 3年B組 学級経営方針

3年B組 担任 高橋 誠子

## 1. 学級目標

**Bee ～ハチのように勇ましく～**

### 教師側の目標

- ☆一人一人が大切にされるクラス。
- ☆授業に集中でき、メリハリがありけじめのあるクラス。
- ☆心を一つにして行事などに団結・協力して、取り組めるクラス。

## 2. 達成するための方法

### 【学習】

- 授業に集中し、他と学び合いができる習慣を確立させる。
- 学級活動や道徳を通して、話し合い活動や、ブレインストーミングなどの互いを認め合う活動を取り入れる。
- 毎日の家庭学習(復習)の大切さを自覚させるとともに、定期考査においては計画的に学習できるようアドバイスする。
- 総合的な学習の時間や進路学習を通じ、夢や希望をもたせ、その実現のための努力をさせる。

### 【生活】

- 最上級生としての自覚を促し、下級生の手本となるような礼儀・言葉遣い、善悪の判断力を身に付けさせる。
- 班・学級・学年の活動を通じ、集団生活の意義を学ばせるとともに、自己肯定感を高める。
- あらゆる活動を通じて、友人を思いやる気持ちを向上させる。

### 【その他】

- 生徒、保護者との人間関係づくりに努め、信頼関係を築き、指導に役立てる。
- 生徒に望むことは、まず担任が手本となるよう心掛ける(授業を大切にする・清掃・昼食指導・人権に配慮した言動 等)。
- 誰にとっても安心して過ごせる学級になるよう十分配慮していく。生徒の状況等により、スクールカウンセラー、養護教諭と連携し、指導にあたっていく。
- 学年、学校内の共通理解を大切にし、多くの目で生徒を見守り、指導にあたっていく。

# 令和6年度 3年C組 学級経営方針

担任 唐木田 充孝

1 生徒数 男子 17名 女子 17名 計 34名

## 2 学級目標

か	ら	き	だ	family
ら	ぶ	&	ピース	
き	あ	い	い	っぱい
だ	ん	結	力	MAX

アットホームで平和な雰囲気、居心地の良いクラスでありながら、皆で乗り越えなければいけないものについては、一丸となって力いっぱい取り組もうという思いを込めて、本目標を設定した。

## 3 生徒の様子

非常に協力的な雰囲気、給食の時間には、周りを見ながら人手が足りない仕事を探し、率先して手伝うことのできる生徒の多いクラスである。一方で、クラス替えのあと、馴染めるか心配している表情の生徒も一定数在籍している。

## 4 学級経営の重点事項

- (1) 生徒が安心して過ごせる場としてのクラスを作り上げていく。
- (2) 継続的に、協力することの大切さや意義を感じられる雰囲気を作り上げていく。
- (3) リーダーシップのとることのできる生徒に関しては、クラスに対して働きかける場をつくる。

## 5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 勉強の苦手な生徒、人との関わりが苦手な生徒、生活に関して支援の必要な生徒がいるなかで、一人一人の苦手なところを認めていきながら、助けたり助けられたりしやすい雰囲気を作っていく。具体的には、クラスの中でクラスメイトを助けている場面をほめることを継続していく。
- (2) 協力してうまくいった場面を見逃さず、行動を評価する。また、よりよい行動を促していく。
- (3) リーダーシップのとれる生徒や、委員会に所属する生徒に対して、助言をしながら、全体の前でクラスを改善できるような提案をする機会を増やし、自信を付けさせていく。

# 令和6年度 3年D組 学級経営方針

担任 伊勢 竜太

1 生徒数 男子 18名 女子 16名 計34名

2 学級目標 「一生懸命 切磋琢磨 先陣切って 生活しよう」

## 3 生徒の様子

- ・学級の中でそれぞれが自分のやるべきことを意識して行動しようとしている姿がみられる。
- ・自分たちで規律を守ろうとする雰囲気もつづけている。
- ・積極的に発言し授業が活気ある雰囲気である。また、一人一人が主体的に取り組むこと様子がある。
- ・明るく前向きな様子の生徒が多い。

## 4 学級経営の重点事項

- (1) 良いことを当たり前に行い、悪いことを当たり前で注意し、自律の精神を育む。
- (2) 当番活動や係活動などの仕事を確実にやり、仕事への責任感、集団の連帯感や個々の自主性を育む。
- (3) 学活時や担任の授業時のクラスの様子だけでなく、他の時間の様子も把握し、学級指導に生かす。
- (4) 義務教育最終年度として、多くの方に支えられてきた現状を理解させ、感謝の気持ちを大切にさせる。

## 5 学級経営の重点事項を達成するための具体的な方策

- (1) 生徒の良い行いは全体の前で取り上げて誉め、悪いことは全体に提示して善悪を考えさせる。
- (2) 清掃時の班員全員での終礼の徹底や、係活動や委員会活動を忘れていた生徒への促しの徹底などを通し、「誰かがやらなければ、誰かが困る。みんなが困る。」という意識を浸透させる。
- (3) 空き時間や昼休み、授業時など僅かな時間にも学年・学級の廊下や教室へ行き、教科担任や学級生徒に普段の様子を聞いたりして生徒の実態を把握し、個別に指導や支援を行う。